

新潟県よろず支援拠点では、県内の各支援機関と連携してセミナーや相談会を開催しています。今回は、創業支援と新商品開発支援の2つの連携事例をご紹介します。

創業支援

胎内市商工会「胎内創業セミナー」



胎内市商工会が主催する「胎内創業セミナー」で、新潟県よろず支援拠点の5人のコーディネーターが講師を務め、全6回、合計18時間の集中セミナーで、経営・人材育成・販路開拓・財務などの創業に必要な基礎知識をお伝えしました。

胎内市商工会のご担当者にお話しを聞きました

新潟県よろず支援拠点の全面的なご協力を得て、無事業実施にこぎつけることができました。一番の懸念だった参加申込者も15名と予想を上回り、また全6回コースにほとんどの受講者が参加され、大変有意義なセミナーとなりました。終了後も創業にかかわる様々な相談を受けており、今後の創業支援につなげたいと考えております。

新商品開発支援

新潟県十日町地域振興局

「インサイトアプローチワークショップ」



新潟県の事業「3魚沼圏域人材確保育成プロジェクト」の取り組みと連携し、酒井コーディネーターが講師をつとめ、「あした使えるアイデアを見つけるインサイトアプローチワークショップ」を10月～12月に全3回シリーズで開催しました。十日町地域をはじめ魚沼圏域の11社にご参加いただき、お客様のインサイト(お客様自身も気づいていない深層心理)を「さぐる」、インサイトから「ひらめく」、インサイトに「ひびく」発想の方法を体験していただきました。

十日町地域振興局のご担当者にお話しを聞きました

自社だけでは気付かない「あした使えるアイデア」をワークショップの中で話し合うなど事業者間の交流促進も図ることができました。参加者間のネットワークやよろず支援拠点の個別相談をうまく活用して「稼げる」新商品開発につながっていただければと思います。

経営のお困りごとは「よろず」にお任せください!

よろず支援拠点は国が全国に設置した中小企業・小規模事業者のための経営相談所です。事業、経営に関するあらゆる分野のお困りごと、お悩みを無料で何度でもご相談いただけます。まずはお気軽にお問い合わせください。

相談無料 | 事前予約制 | WEB相談OK

「ご相談までの流れ」

お電話もしくはメールにてご連絡

申込書、留意事項を送付HPのご相談申し込みフォームからもお申込できます

事務局からご連絡

相談日程と場所の調整

ご相談

ご相談の課題解決までチームで支援いたします

よろず通信「ご覧いただきありがとうございます」が送られてきます。平成26年度に「よろず支援拠点」がスタートし、今年度で丸11年となりませんが、まだまだ「どこに相談していいかわからない」という事業者の方も多いと思います。今年度もより一層、支援機関の皆様と協力し、事業者の皆様のお役に立てるよう、コーディネーター一同で取り組んで参りますので、引き続きよろしくお願いたします。今回もいくつか事例をご紹介させていただきました。少しでも皆様の前向きなチャレンジのご支援につながれば幸いです。取材にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。



チーフ笹川のワンポイント

お問い合わせお申し込み

新潟県よろず支援拠点 TEL.025-246-0058

公益財団法人 いがた産業創造機構(NICO)内 新潟県新潟市中央区万代島5番1号 万代島ビル10階 | 開設時間 | 9:00~17:30(土日祝・年末年始は休業)

FAX.025-246-0033 E-MAIL. info@niigata-yorozu.go.jp

最新情報はここから!



あなたの思いに寄り添い全力でご支援します!

お店や会社のお悩みやお困りごとはお店や会社様々です。新潟県よろず支援拠点にお寄せいただいたご相談の中からご紹介した事例の一部をご紹介します。



ご支援事例

新規飲食部門の利益改善

有限会社 新光園

ご相談のきっかけ

新規飲食部門のカフェの売上が伸びず、社内でコストや作業手順などを追及したが解決に至らなかった。金融機関から紹介されて、よろず支援拠点へ相談。初回は金融機関の担当者も立ち会った。

支援のポイント

造園業の新事業でカフェを展開したが、売上が伸びず、利益が十分ではなかった。庭の風景や植物をテーマにした看板デザートのブラッシュアップを機に全メニューの見直しを行い、原価、利益率の改善を実施。メニューの再構築に伴い、調理オペレーションも再検討し、省力化、ロスの軽減を図った。現場を整えた後、プレスリリース、instagramの情報発信についても支援した。



常務取締役の野瀬美世子さん。「時間と場所の使い方が上手になって、みんなの残業も減りました」



貸切のヴィラプール、サウナを備えた施設「5yukuri」。カフェではお庭を眺めながらランチやデザートが楽しめる



有限会社 新光園・5yukuri 新潟県阿賀野市天神堂387-1 TEL.0250-62-4423

造園業を営む新光園が植物や庭に親しめる複合施設を展開し、カフェ事業を開始。「これまで飲食業の経験がなくて苦労した」と当初、売上は伸び悩んだ。「初回の相談はこんなこと聞いていいのかな?難しいことを言われるのでは...と怖かった」と野瀬さん。飲食業の基本的な考え方、作業改善、原価管理、接客、調理、食品の保存など具体的な助言に「画像を使った説明もわかりやすく、スタッフにもできることからいいよと優しく指導してもらって安心して取り組めた」と不安は払拭。助言を実行すると利益が生まれ、効果を実感。「スタッフは自分の作業に意義を感じて、会社の空気感も良くなりました」。今ではそれぞれが自発的に挑戦、工夫するように変化。「これからは教えてもらったことを定着させて、さらに売上を伸ばしたい」と新メニューも考案中。利益拡大に向けて取り組んでいる。



本物そっくりの「苔テラリウムパフェ」(1,200円)。お庭をまるごと食べるような楽しいデザート



担当コーディネーター 本間真弓からのメッセージ

毎回のアドバイスについて、確実に実行していただきました。対応する速度が速いので、成果が現れました。また、野瀬さんとスタッフの皆さんの情報共有、意思疎通、連携がとても素晴らしいと思います。



事例をレポート!

# よろずのご支援 Report!

ご支援事例

## 社内プロジェクトによる新製品開発

株式会社アサヒ

### ご相談のきっかけ

会社の課題の発見と、今後の取り組みについて相談するために、燕市役所・商工振興課が実施する伴走型支援制度を活用。その後、よろず支援拠点に引き継ぎ、具体的な新製品開発に発展した。

### 企画立案の手法を一新して新製品を開発



「米(マイ)スター Spoon」はお米を食べるための Spoon。米どころであり、職人の町・燕を表現したネーミングもユニーク

カトラリーや調理器具を製造する燕市のアサヒは会社の課題発見と解決のために支援を活用。ヒアリングの後、「今まで社長と企画部、営業部で行ってきた製品開発を、酒井コーディネーターの提案で製造や包装部門からも人を集め、失敗してもいいから若い人だけで意見を出し合ってみることにしました」と田中さん。新たな一歩を踏み出すことを目標に、初めてのスタッフのためにゲーム感覚で取り組める工夫など「酒井さんに上手に導いてもらいました」。アイデアの中からプレゼンを行い、具体的な製品開発に発展。試作を何度も重ねて1年以上の時間をかけた開発はこれが初めて。「今まで1方向しか見えていなかった。いろんな人を想定して考えることができた」と星さん。新しいアイデアと長年培った製造技術が融合し「米スター Spoon」が完成。「自分たちだけではここまで突き詰められなかった」と田中さん。星さんは「今後も同じスキームでやっていける」と手応えを感じている。

### 支援のポイント

ホームランを狙わずにリスクの少ない小さな一歩を踏み出す社内プロジェクトチームをスタート。お客様の行動観察として、 Spoon を使う家族を観察、インタビューし、お客様の潜在ニーズを導き出した。ニーズを実現させるためにアイデアを出し合い、何度か試作品を作って、実際に使用。自分たちで「これは行ける!」と思えたことが商品化の何よりも裏付けや根拠になった。商品発売前に展示会に出展、商談および販売が進行中。



プロジェクトで中心となって取り組んだ専務取締役・田中宏垂さん(右)、企画部課長・星達朗さん(左)



いつもは製造部門で製品を1つ1つ丁寧に作る若い職人さんも今回のプロジェクトに企画から参加した

### 担当コーディネーター 酒井 宏明 からのメッセージ

自社商品を実際に使用したり、使う人を観察することで多くの気づきを得られたと思います。また、お客様の現場に基づくことの重要性を実感できたと思います。試作や内部評価を繰り返し、自信を持って作った商品が展示会で良い評価を得たり、引き合いにつながったことは小さい一歩ですが大きな意味のある成功体験です。今回のやり方を今後も活用し、新たな商品開発への展開を期待しています。

Hiroaki Sakai



株式会社アサヒ  
新潟県燕市燕610番地 TEL.0256-63-6061

## 3機関 連携支援

返済負担が大きい  
財務上の課題がある  
中小企業者等



### 新潟県中小企業 活性化協議会

収益力改善、事業再生、  
再チャレンジまで幅広く  
経営課題に対応します。

メッセージ  
栗山 充  
統括責任者



当協議会は、収益力改善、事業再生、再チャレンジまで幅広く経営課題に対応する公的機関です。「将来を見据えて、収益力を向上させたい」、「業績が悪化しており今後の資金繰りに不安がある」、「現在の事業を再建するための経営改善計画を策定したい」など、事業上の経営課題に対して、随時相談に応じておりますので、お気軽にご連絡ください。



親族内承継または  
第三者承継を実施しようとする  
中小企業者等



### 新潟県事業承継・ 引継ぎ支援センター

親族内での承継や  
第三者への承継など、事業承継に  
関する相談に対応します。

メッセージ  
山本 剛  
統括責任者



事業者の皆様は、販路開拓や価格転嫁、人手不足や人材育成、資金繰りや経営改善、事業承継等様々な経営課題を抱え、また各課題が絡み合っているため日々頭を悩ませています。早めの着手・準備が必要な事業承継・M&Aを含め様々な経営課題の解決に向け、ワンストップの「3機関連携相談会」の機会を是非ご活用ください。



様々な経営課題を抱える  
中小企業者等



### 新潟県 よろず支援拠点

創業、売上拡大、経営改善など  
ビジネスのあらゆる相談に、専門の  
コーディネーターが対応します。

メッセージ  
笹川 一郎  
チーフコーディネーター



よろず支援拠点は、何回でも無料で利用できる経営相談所です。販路拡大や補助金活用から、創業、税務、労務、法律など多岐にわたる皆様のお困りごとと解決に向け日々取り組んでいます。まずはお気軽にご相談ください。今後、3機関が一層連携し、ワンストップでご相談できる機会を増やしていきますので、是非ご活用ください。

